

学期	月	時数	単元名と内容	単元のねらい	観点別評価規準(主たるもの)			
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
1学期		6	世界と日本の地域構成 【地理的分野】 (1)①世界の姿	世界の地域構成を大観するとともに、その特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。	世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解したり、地図帳のさくいんや統計資料を活用したりしている。	国名や国旗、国境線の特徴から、その国の歴史や文化が分かることや、さまざまな種類の世界地図の特色を考察している。	地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究しようとしている。	
		5	(1)②日本の姿 【地理的分野】	日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観させ、理解させる。	世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めることができる。	世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。	世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。	
		4～7	10	世界のさまざまな地域 (1)人々の生活と環境 【地理的分野】	世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。その際、世界の主な宗教の分布についても理解させる。	世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。	世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。	世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。
		3	歴史へのとびら (1)歴史をとらえる見方・考え方、(2)身近な地域の歴史 【歴史的分野】	年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させる。	年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。	私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
		16	古代までの日本 【歴史的分野】 (1)世界の古代文明と宗教のおこり、(2)日本列島の誕生と大陸との交流、(3)古代国家の歩みと東アジア世界	古代までの日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現させる。	世界の古代文明や宗教のおこりを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成され、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。	世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における国家形成、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
2学期	9～12	25	(2)世界の諸地域 【地理的分野】	アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解させる。	アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。	各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	

期		9	中世の日本 (1) 武士の政権の成立、(2) ユーラシアの動きと武士の政治の展開 【歴史的分野】	武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。	南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。	武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動きについて、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学 期	1 ～ 3	12	中世の日本 (2) ユーラシアの動きと武士の政治の展開 【歴史的分野】	南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。	諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。	東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。
		19	近世の日本 (1) ヨーロッパ人との出会いと全国統一、 (2) 江戸幕府の成立と対外政策、(3) 産業の発達と幕府政治の動き 【歴史的分野】	ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。	ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解している	交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の動きと統一事業について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
合計	105			評価方法	定期考査、小テスト等	定期考査、ワークシート等	ワークシート、レポート、発表等